

鹿児島医セン

鹿児島医療センター（循環器・脳卒中・がん専門施設）

2011.6

vol.62

心エコー図学会を開催して

去る4月21日より23日まで鹿児島市民文化ホールにて第22回日本心エコー図学会学術集会在当院主催で開催されました。東日本大震災直後ということで、多くの学会が取り止めや延期になる中、その開催にはためらいもありましたが、何とか開催にこぎつけ、参加者数も844人といつもと変わらない結果にほっとしています。困難極まりないはずの東北地方からも20数名の医師と心エコー技師が参加しました。本学会は医師と心エコー技師の4700名余からなる全国組織の学会ですが、国立病院機構からも仙台医療センターを含む10施設14人の医師ならびに技師が参加しました。学会は復興の意味を示す白いリボンに参加者全員がつけ、被災者に対する黙とうのあと始まりました。



アメリカからJK Oh先生（メイヨクリニック）、塩田隆弘先生（シーダスサイナイメディカルセンター）、Sanjiv Kaul先生（オレゴン大学）の3人の先生方が、また韓国からはJong-Won Ha先生（ヨンセイ大学）が駆けつけてくださり、素晴らしい講演、キイノートレチャー、ランチョンセミナーをしていただきました。シンポジウムでは「New Device時代の心エコー法の役割」、「心エコートプラ指標の心不全治療への応用」、「心エコー法による心筋虚血評価の到達点」、「3D心エコー法による定量評価への新展開」が行われ、また、ピジュアルワークショップでは、動脈硬化の検出にエコーがどのように有用かを明らかにするため、エキスパートによる頸動脈、大動脈、腎動脈、下肢動脈領域の話がありました。今回初めて行われた韓国心エコー図学会とのジョイントミーティングでは、両国からそれぞれ2名の医師が症例検討を行いました。



また、教育企画として、ブタの心臓を用いて解剖を学ぶウェットラボ「見て学ぼう 触って学ぼう、心臓の解剖」は、鹿児島大学心臓外科の井本教授の御指導と

当院の心臓外科の先生方3人の御協力の下に、充実した素晴らしい内容の勉強会となりました。また、神戸中央市民病院の岡田征功先生によるイブニングセミナー「僧帽弁逆流にたいする弁形成術1000例の経験からみた手術適応時期」も極めて印象に残る内容でした。その他、循環器小児科医の先生方による多くの教育講演の他、血管エコーのライブデモンストレーションなども行われました。今回は震災を受けて、緊急企画「東日本大震災復興支援を考える会：今我々にできること」を開催しました。東北地方からの医師に現状を報告していただき、学会員が震災復興のために何ができるかを話し合い、今秋より仙台市でエコー講習会を開催してゆくことなどが決まりました。

以上の様な次第の学会内容でしたが、私自身にとりましては夢のような3日間でした。1年近く前から準備を進めておりましたが、身の丈に合わない役柄に戸惑いつつ、せめて目立たないように終わるつもりでいました。しかし、大震災後ということで、変に注目を浴びてしまい、それどころではなくなりました。にもかかわらず、鹿児島大学医学部や鹿児島超音波研究会の方々、そして、何よりも当院の院長先生、1循、2循の循環器内科の先生方、心臓外科の先生方、技師の方々、事務の方々には多大なるご支援をいただいたお陰で、何とか責務を果たすことができました。この場をかりまして厚く御礼申し上げる次第です。学会開催中、桜島は何回も噴煙も吐き、参加者の中には始めて見る本物の噴煙に驚かれた人も多かったようです。桜島にも感謝したいと思います。



（文責 皆越 眞一）

研 修 医 奮 闘 記



大西 峻

鹿児島医療センターでは、循環器、がん、脳卒中の基本的なことから高度な専門性を持った医療まで研修することができました。熱い指導医の先生方から、日常診療、当直などの場面で指導していただきました。指導医の先生だけでなく、コメディカルや事務の方々まで協力してくださる態勢が整っていて、研修に集中することができました。また協力病院が多く、鹿児島市内の大規模な病院から、霧島市医師会医療センターなどの地域

の中核病院、19床で島の医療を支える下甑の手打診療所まで、様々な規模、立場でどのような医療を行っているかを学ぶことができました。2年間の研修を通じて、医師としての基本的な姿勢を身につけると同時に、素晴らしい同期と出会うことができました。これからもここで学んだことを生かしつつ、日々努力していきたいと思います。ありがとうございました。



樋口ちひろ

2年前の4月に研修医生活が始まり、右も左も分からないまま病棟であたふたしていた日々からあっという間に2年間過ぎてしまいました。教育熱心な先生方やスタッフの皆さんのお陰で充実した研修医期間を送ることができました。特に勉強になったのは脳卒中や循環器の急患対応で、当直でも必ず上の先生が指導して下さり、慌てずに対応できるようになりました。また、救急、小児科、

産婦人科、精神科などで他の病院にも研修に行けたのでそれぞれの病院の技術や指導を経験することが出来大変勉強になりました。研修医は鹿児島大学だけでなく、他大学からも多くお互いに切磋琢磨でき同期の仲間が沢山出来たことが一番良かったです。ここでの経験を生かし、今後も日々成長していけるように努力していこうと思います。2年間ありがとうございました。



坂江 貴弘

平成21年4月より2年間、当院にて臨床研修を行わせていただきました。右も左もわからない状態で研修医生活をスタートしましたが、指導医の先生方をはじめ病院のスタッフの方々がとても親切にサポートして下さい、同時に多くのことを学ばせて頂き、恵まれた環境で研修を

行うことができ大変感謝しております。また、多くの同期と出会い、切磋琢磨しながら充実した研修を行うことができたことも貴重な財産となりました。今後この病院で得たことを糧に精進していきたいと思います。これからも宜しくお願いします。



山元 文晴

初期研修が始まって早2年が経ち、来月からは大学へ入局し、いよいよ本当の医師としての生活が始まります。東京から戻ってきて、研修を始める時の気持ちが頭の中に浮かびあがってきます。これから社会生活が始まるんだ、どうなるんだろう、寝坊せずに毎日いけるかな、自分の知識でやっていけるかな、頑張らなきゃ、初給料出たら何を買おうか。今まさにこの時と同じ気持です。2年間の研修で僕は何も学んでいないようでもあり、多くの患者さんは確かに自分の力が救うきっかけになった事を思い出せます。いろいろな科を回り、

いろいろな事を学んだおかげで、その人達を救えたんだと思い、お世話になった上級医の先生方と看護師の方、そして多くのスタッフに感謝の気持ちが湧き出せます。この病院で研修して良かった。「医療センター出身の医師なんだ?じゃあ信頼できるね!」なんて後輩の研修医たちが言われるようにこれから頑張っていきたいなど生意気なことを考えています。この病院で研修が出来て良かった。心からそう思います。お世話になった皆さん、本当にありがとうございました。

新 任 紹 介



消化器内科 医師 **軸屋 賢一** じくや けんいち

平成23年4月から勤務させて頂くことになりました。当院での勤務ははじめてです。また、消化器内科医としてもまだまだ未熟で、慣れない点多々ありますが、少しでも早く慣れてスムーズな診療ができるよう頑張っていきたいと思っております。どうぞよろしくお願ひ致します。



泌尿器科 医師 **古郷 修一郎** こきょうしゅういちろう

平成23年4月より勤務させて頂くことになりました。泌尿器科領域および透析関連のことで、少しでも貢献できるように診療に励んでおります。御迷惑をおかけすることもあるかと思ひますが、御指導のほどよろしくお願ひいたします。



第二循環器科 医師 **河野 智紀** かわの ともりの

平成23年4月から勤務させて頂くことになりました。オーダリングも含めて病院のシステムに最初はカルチャーショックを受けました。また心臓カテーテル検査や冠動脈形成術時に、今まで見たこともないデバイスの登場や手技にただただ見とれているばかりでした。1ヶ月が経ち、まだ戸惑いながらの日々が続いておりますが、様々な事を少しずつ習得していきたいと思ひています。医師としても人間としてもまだまだ未熟な私ですが、患者さんのために一日一日、一歩ずつ成長して行きたいと考えています。ご指導の程宜しくお願ひいたします。



第二循環器科 レジデント **中村 義孝** なかむら よしたか

4月から6月まで第二循環器科と血液内科でレジデントとして勤務させて頂くことになりました。鹿児島島医療センターは、私が研修医1年目のとき初めて勤務した病院なので、1年ぶりに戻って来ることができ、とてもうれしく思ひています。まだまだ未熟者ですので、ご迷惑をおかけすることも多いかと思ひますが、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願ひ致します。



第二循環器科 レジデント **石川 裕輔** いしかわ ゆうすけ

平成23年4月1日より勤務させて頂くことになり、今年度より循環器科を専門とさせて頂くことになりました。不慣れなことが多くご迷惑をおかけすることがあるかと思ひますが、ご指導のほどよろしくお願ひ申し上げます。



消化器内科 レジデント **千堂 一樹** せんだう かずき

本年4月より当院消化器内科で1年間勤務することになりました。山梨大学病院で初期臨床研修終了後、鹿児島大学病院第2内科に入局し、現在4年目になります。慣れないことも多く、御迷惑をおかけすることもあるかと思ひますが、精一杯尽力して参りたいと思ひますので、御指導・御鞭撻のほど宜しくお願ひ申し上げます。



第二循環器科 レジデント **馬場 善政** ばば よしまさ

平成23年4月から第二循環器内科のレジデントとして勤務させて頂くことになりました。不慣れな点多いとは思ひますが、ご指導、ご鞭撻の程宜しくお願ひいたします。



血液内科 レジデント **藤野 聡司** ふじの さとし

平成23年4月より勤務させて頂いております。鹿児島大学病院で初期研修終了後、血液膠原病内科で研修させて頂いていました。血液内科医としてのみにとどまらず、日常診療の中で、広く諸先生方から学ばせていただきたいと考えております。御迷惑をおかけすることも多いとは思ひますが、御指導の程よろしくお願ひ致します。



循環器合同カンファレンスへのお誘い

当院では、毎週月曜日・午後6時から手術摘要症例などについて、循環器内科・心臓血管外科・麻酔科・リハ科など合同で症例検討会を開いています。オープンですので治療方針等について悩んでいらっしゃる症例がありましたら提示していただき、一緒に検討できればと思います。遠慮なくご参加お願い致します。

問い合わせ先

鹿児島医療センター 地域医療連携室

電話 099-223-1151 (内線 7344) FAX 0120-334-476

7月看護研修のご案内

主催 鹿児島医療センター看護部教育委員会

循環器エキスパート研修 **糖尿病と血管障害**

●日 時：平成23年7月12日（火）14時～16時

●講 師：糖尿病看護認定看護師 中村 由美子

●場 所：研修棟 3階

●対象者：医療関係者

がんエキスパート研修 **リンパ性浮腫の看護**

●日 時：平成23年7月20日（水）14時～16時

●講 師：リンパ浮腫指導技能者 竹添 勲子

●場 所：研修棟 3階

●対象者：医療関係者

脳卒中エキスパート研修 **コミュニケーション障害者の訓練と支援**

●日 時：平成23年7月26日（火）14時～16時

●講 師：言語聴覚士 田場 要

●場 所：リハビリ室

●対象者：医療関係者

※参加ご希望の方は準備の都合上、各コース3日前までに企画課（松尾）までご連絡下さい。院外の方のご参加をお待ちしています。

電話 099-223-1151 (内線 7303) FAX 099-226-9246



編集後記

今年は例年になく早い梅雨入りとなりました。すでに台風もやってきました。今のところ雨もよく降り、水不足は大丈夫でしょう。

さて、当院ですが5月より少しずつ中庭の改修を行っていました。なかなか、憩いの場が少なかったり、食事がとれるスペースがなかったりしましたが、これからは晴れた日はぜひ中庭を訪れてみて下さい。

(担当:井上)

お知らせ

前号(鹿児島医セン vol.61)に誤りがありましたのでお知らせ致します。修正点は以下の通りです。誠に申し訳ございませんでした。
◎3ページ下部“新任紹介”の「泌尿器科 レジデント 米澤 智一」→「泌尿器科 医師 米澤 智一」

■お問い合わせ先 独立行政法人 国立病院機構 **鹿児島医療センター** (循環器・脳卒中・がん専門施設)

〒892-0853 鹿児島市城山町8番1号 代TEL 099(223)1151 FAX 099(226)9246

http://www.kagomc.jp 脳卒中ホットライン ▶ **090(3327)5765**

【地域医療連携室】 濱田・今泉・永重・井上・神崎・森・中島・吉留・木ノ脇・水元・酒井

直通電話▶099(223)4425 フリーダイヤルFAX専用▶0120(334)476

※休日・時間外は当直者で対応します。

